学校番号	２１０

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等　保健体育（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ

・最終学年では、個々人がリーダーの意識を持って授業に臨むこと。
・ゲームが多くなってくるため注意をよく聞いて安全面に留意をして臨むこと。
・生涯にわたって運動にかかわれるように個人の技量に合わせて全員が楽しめるように考える。

2　学習の到達目標

・生涯にわたり、運動にかかわりあえる態度、習慣を身につける。
・安全に留意し、仲間と協調しあいながら運動する態度を育ててゆく。
・健康の保持増進を基本とし、さらに向上しようとする態度および精神を育てる。

3　学習評価８評価規準と評価方法）

【評価の観点及びその趣旨】

観点	a ：関心・意欲・態度	b ：思考・判断	c ：運動の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることが出来る。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身につける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとのかかわり方について理解している。
評価方法	授業態度 例：準備や後片付けを率先して行う等 授業記録 例：ゲームなどにおける反省分等	授業記録 体育理論のテスト	スキルテスト ゲーム、記録会の結果等	授業記録 例：自身の記録から成功や失敗の理由を考える等 体育理論のテスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評価にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	合同体育	サッカー　バスケットボール　ソフトボール　テニス　卓球　フットサル　バレーボール　フライングディスク　バトミントン等から種目を選択。学期中に２～３サイクルで活動をする。	○	○	○	○	ａ:準備や後片付けに対しても、積極的に取り組めるか。 ｂ:１時間のスパンで物事をとらえずに長いスパンでこれらを判断してゆく。 ｃ:それぞれの種目の特性に応じて全員が理解し、協力し、技術を高めあってゆけることが出来るか。 ｄ:ゲームに必要な知識・理解をもって臨めるか。	授業態度 スキルテスト 出席
	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の単元を取り上げる。 １．生涯スポーツの見方・考え方 ２．ライフスタイルに応じたスポーツ	○	○		○	ａ:多様化する生涯スポーツのあり方を理解する。 ｂ:ライフスタイルに応じてに対しての自らの今後の取り組み方を考える。 ｄ:将来、実践してゆくに当たり課題を考える。	提出物
2学期	合同体育	実技に関しては１学期と同様に活動。	○	○	○	○	１学期と同様に評価。	授業態度 スキルテスト 出席
	体育理論	体育理論については、「豊かなスポーツライフの設計」の単元を取り上げる。 ３．日本のスポーツ振興 ４．スポーツと環境	○	○		○	ａ:日本および国際的なスポーツに対する取り組みを理解する。 ｂ:自然破壊などスポーツを取り巻く環境などを理解する。 ｄ:人と自然の共存、これからのあり方を考える。	提出物
3学期	合同体育	１・２学期と同様に活動。	○	○	○	○	出席を重視。	出席

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。